



### 第48号

平成28年1月15日発行  
日本獣医生命科学大学  
同窓会  
東京都武蔵野市  
境南町1-7-1  
発行者 中條 眞二郎  
直通電話・FAX  
0422-33-2916  
E-mail dosokai@nvlu.ac.jp  
URL http://nvlu-dosokai.  
academic-sol.com/

## 平成二十八年 新年のご挨拶

日本獣医生命科学大学同窓会会長

中條 眞二郎



同窓会報第48号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。会報が会員皆さまのお手元に届く頃は、希望に満ちた新年の一步を踏み出されたこととお慶び申し上げます。

本年は申年ですが、日光東照宮・左甚五郎作の見ざる、聞かざる、云わざるが思い浮かびます。時代によっては積極的に見て、聞いて、発言する行動もありかなと思います。

本年度事業として同窓会館の設立、大学報のお届け、獣医保健看護学科の10周年記念のお祝いに取り組んで参りました。

大学のシンボルとなっている本館は、事務関連施設が新館E棟に全て移転し空室とな

り、本館施設利用委員会が設けられ有効活用が検討されてきました。委員会は、同窓会の要望を受け入れて二部屋の貸与を了承してくれました。新年度までに内装を行い、移転したいと考えております。また、この本館は博物館としても利用されることになりました。在学生の学芸員資格の取得には、博物館施設の設置が条件にあり、梶谷教授主導で着々と準備を進めています。同窓会としても博物館設置に全面的な協力を惜しみません。同窓生の皆さまには展示物などについて、絶大なご協力をお願いします。

昨年9月発行の会報47号に同封しました、大学報は学生、大学関係者と受験者だけに配布が限られていました。入試広報センター石(食品科学科)委員長と編集委員の先生方によって広報誌が作成されています。内容は大学の年間の行事、学生の活動、教職員の異動、各学科の教室を紹介する等、同窓生も知りたい内容が満載されています。同窓会員と大学を結ぶ情報伝達の役割を担うものと確信しています。

獣医保健看護学科設立10周年が平成27年11月28日(土)に盛会裡に執り行われました。学科設立に当たって池本学長は、獣医看護師の将来を見据えた日本で最初の四年制の学科で、獣医看護師の国家資格に堪える養成と、

保健看護学科の教員を担う人材育成を目指しておりました。以後、順調に優秀な卒業生を輩出し、社会で頑張っています。更に、第1号の博士号を取得した学生を輩出し、目を見張る躍進をしております。同窓関係者の就職支援などに関してどうぞご協力をお願いします。素晴らしい10周年式典・祝賀会が開催された陰には、先生方の苦勞の連続とそれに応えた学生があつてからです。卒業生はまだ若く、式典・祝賀会がとても良い雰囲気、心地良い一時を過ごしました。看護学科の同窓生の皆様、さらなる活躍を期待いたしております。

応用生命科学部の食品科学科は、平成28年に50周年を迎えます。藤沢食品科学科長を中心に委員会が立ち上がり、学科卒業生と共に50周年を盛会にお祝いをする準備を始めたか聞いています。改めてお知らせしますが、是非ともお誘い合わせの上多くの食品科学科同窓生のご参加をお待ちしています。

今後の同窓会は、大学との協調を踏ることが重要で、1月に開催している同窓会役員と母校教員との懇親会もその一環です。入学試験や卒業試験など多忙な時期にもかかわらず、多くの先生方の参加を頂いています。会は大変友好的な雰囲気、他大学出身の先生方とも話題交換がされる機会でもあります。

同窓会と学生との交流は、大学祭に経済的支援を以前から行ってきましたが、学生と直接交流の場を持つ機会がありませんでした。130周年記念事業の教育棟で開催された、柔道・剣道・空手の三武による道場鏡開きに協力し、学生と接する機会がありました。食品科学科、動物科学科、獣医保健看護学

科はE棟へ移転しました。移転した三学科の同窓生に、新しくなった教育研究施設の内覧会を平成26年11月の日獣祭期間中に開催しました。同窓会のブースを設け、同窓生・学生と一般の参加者の接待を初めて試みました。今年度も引き続き同窓会ブースを設けました、今後も継続して開設予定です。最後になりましたが、本年は多数派である、女性会員の同窓会への積極的参加を切望しております。母校の変貌に負けない同窓会の組織作りに役員一同も取り組む所存です。

### 学校法人日本医科大学 理事・評議員の改選

平成27年12月17日に学校法人日本医科大学理事・評議員の改選が行われました。

同窓会および母校関係者の理事・評議員を掲載します。

- 退任 理事 佐藤雄三(大獣医1期)
- 平成12年〜平成27年12月
- 新任 理事・評議員 清水一政(大獣医17期)
- 平成27年12月〜4年任期
- 再任 理事・評議員 池本卯典学長
- 評議員 中條眞二郎(大獣医12期)
- 評議員 寺田 厚(大獣医13期)
- 評議員 河上栄一(大獣医26期)
- 評議員 阿久澤良造(大食品22期)
- 評議員 高橋公正
- 評議員 天尾弘実

## 平成二十七年 日本獣医生命科学大学 同窓会代議員会開催される

平成27年7月25日(土)午後1時00分より、日本獣医生命科学大学E棟1階大講義室において開催された。

代議員会に先立ち、午前10時30分から理事・幹事会が開催され、議案書の確認がおこなわれた。

来賓に学校法人日本医科大学赫理事長、池本学長をお迎えして、鈴木顧問、常務理事9名、理事・監事29名、代議員57名、支部代表7名の出席があった。

会に先立ち、逝去された会員へ黙祷がなされた、その後司会の吉田常務理事から開会宣言があった。

最初に中條会長の挨拶(要旨)があった。

7月発行の同窓会報47号は、母校の新しい情報を届けるため、大学報と一緒に会員へ送付しました。

同窓会館は法人理事長、学長、施設の方々の協力により、本館の一部を提供されました。本館に同窓会館をつくり、同窓生が来校した折にくつろげる部屋も設けたい。しかし、大学の施設なので同窓会が勝手に改装することができない。そこで、同窓会館設立資金を法人に一旦寄付し、改装をその費用で賄うことを理事長に了解をいただいた。そのために第5号議案を急遽ながら追加したので後ほど審議をお願いしたい。

同窓会の組織の見直しは、四学科に均等な会にという努力をしている。会費納入が年々

減少している現実も踏まえて会則改正と組織強化に尽力したい。

130周年記念事業はまだ続いているが、釀金目標額にはまだ程遠い額です。同窓会としては、更に何らかの形で貢献したい。

次に池本学長から挨拶(要旨)を頂いた。

本学には1,700人の学生がいますが、そのうち1,000人は女子学生です。女子学生を多く集める大学が成功すると言われていいますので、この大学では心配ありません。獣医師国家試験は私立では1番、国立を含めると3番目でした。

国際交流は、現在11大学と交流しています。本学には延べ60人ぐらいの外国人が勉強しています。教育面ではイングリッシュラウンジを設け、またオーストラリアのクイーンズランド大学とネットで英会話の勉強などグローバルな教育をしています。

動物看護師を早く国家資格化するため、教職員共々、国に働きかけをしています。

能動的学習は、学生自身が学びたいものを掴み出します。この学習法は動物、食品科学科の教育には十分対応できるので取り入れています。就職した時にすぐ社会に役立つ人間を作るようになります。

獣医学教育の国際化は、海外と本学の獣医学教育のレベルが一緒である認証を受ける手続をしています。

獣医学教育は極めて大きな改革をしていま

す。C B T (Computer Based Test) が全国一斉にあり、学生の教育の程度が確認されます。本学が臨床トレーニング実習を全国で一早く始め、学外から見学に来られる方もいます。

食品科学科の定員を80名から90名にする手続をしています。保健看護学科を100名から110名にして、大学の教育と法人に寄与する体制を取る努力をしています。

続いて、学校法人日本医科大学 赫理事長の挨拶(要旨)を頂いた。

合同教育棟が去年の3月に完成し、老朽化した教育環境・設備の整備は完成したと思っています。今後も、時代に即した教育環境の整備は怠らず続けていきます。

合同教育棟の2・3階で日本医科大学の1学年を教育することになりました。同じ生命科学を探索する大学で、今までも合同研究でコラボレーションをしていましたが、教育でもコラボできると期待します。学生達も多感な時期に違う学部 of 多種多様な考え方を学ぶこともでき、教育に対して相乗効果が出ると期待しています。

日本の急激な少子高齢化に伴って大学に進学する人口が減少し、地方大学の定員割れが当たり前になっています。現在、本学では深刻な悩みではないが、今後対応していかなければならないでしょう。

日本の経済繁栄を維持するには、優れた人材の育成が必要です。獣医大では教育システムの改革等を着々と進め、教育の質転換、学生主体の学びが確立されています。今後も、社会に優れた人材を輩出し、研究の成果を社会に発信するものと期待しています。



赫理事長挨拶

### 議長選出

会則により代議員から議長立候補者を募りましたが、挙手がないため、午前中の理事・幹事会で推薦した議長を中条会長が発表。熊本県代議員福岡周孝氏、岐阜県代議員寺本康信氏両名が拍手で承認された。

### 書記及び議事録署名人選出

書記は、予め事務局から依頼した伊藤忠女史(母校獣医保健看護学科3年)に、議事録署名人は大学支部小山秀一氏と吉田達行氏が指名され、拍手により承認された。事務局より、本日の出席者来賓2名、顧問1名、常務理事9名、理事・監事29名、代議員57名との報告があり代議員会は成立する旨の報告があった。

議長が着席し議事が開始された。まず、第

5号議案同窓会館積立・取り崩しについて  
(案)を追加する事が了承された。



議長団挨拶

**第1号議案 平成26年度事業報告**

荻野総務理事より報告があった。平成26年度は、130周年記念事業の合同教育棟が竣工し、4月から日本医科大学と日本獣医生命科学大学が同じキャンパスで学ぶ体制となりました。同じ法人の両大学間での学生交流が行われることは、学生生活に良い結果をもたらすものと期待されます。合同教育棟には応用生命科学部の動物科学科と食品科学科の研究室が一新され、念願であった獣医保健看護学科の研究室が整備されました。また、学生の福利厚生施設の武道場・卓球場の他、各種に利用できる多用途施設も設置されました。合同教育棟の3学科の教育研究施設の内覧会と武道場の柔道・空手・剣道部のOBによ

る道場開きを案内し共にお祝いをしました。基幹の本部事業は、本年度より会報の年二回発行を試し、有意義であれば継続することにしました。同窓会の動向を把握する大事な名簿を発行し、前回同様一万余名の同窓生に送付しました。

学術後援は、従来の母校学術交流会が獣医生命科学会と改称され、協賛金を支出しました。学生に対する支援は、例年通り大学祭に協賛金を支出し、本年度は大学祭期間に同窓会ブースを設け同窓生の参加を呼びかけるなど協力しました。

実施事業

- 平成26年度代議員会  
平成26年7月20日(日) 午後1時30分より、母校E棟1階大講義室にて開催  
出席者は来賓2名(池本卯典学長、学校法人日本医科大学佐藤雄三理事)、顧問1名(鈴木昭顧問)、理事25名、幹事3名、代議員56名 計87名  
終了後懇親会を開催
- 役員会及び各種委員会の開催  
(1) 常務理事会5回開催  
(2) 業務・出納監査会  
平成26年4月29日(火)  
(3) 理事・監事会 平成26年7月20日(日)  
(4) 会報編集会議8回  
主な行事への参加  
平成26年度入学式  
平成26年4月4日(金)  
(2) 母校教員との懇親会  
平成27年1月23日(金)  
(3) 平成26年度学位記授与式  
平成27年3月11日(水)

- 支部会・連合会への派遣(19支部、1連合会) 別表参照
- 会報45号発行 平成26年7月15日(10、473名へ送付)
- 同窓会名簿発行 平成26年12月10日(10、2322名へ送付)
- 合同教育棟見学会開催  
平成26年11月2日(日)
- 会報46号発行 平成27年1月15日(10、178名へ送付)
- 連携動物病院申請受付33件受理  
大学への支援
- 第一回獣医生命科学会へ寄付  
平成26年11月9日  
獣医学教育支援機構へ寄付  
平成26年11月9日
- 梅野信吉賞受賞者に副賞を贈呈(授賞者・落合和彦講師 獣医保健看護学基礎部門)平成27年3月11日  
平成26年度母校退職者4名へ記念品贈呈  
平成27年3月
- 池田秀利教授(獣医学科)  
田中実教授(動物科学科)  
中垣和英准教授(獣医学科)  
小林久美子(庶務課)  
学生(準) 会委員への事業  
(1) 入学祝い スポーツタオルセット  
(2) 卒業記念 ペーパーウエイト  
(3) 同窓会会長賞  
各学科卒業生1名に賞状と記念品  
獣医学科 高木毬子  
獣医保健看護学科 池田美奈子  
食品科学科 州合千尋  
動物科学科 金子一規

**平成26年度監査報告書**

平成26年度同窓会業務並びに会計の収支決算を平成27年5月24日母校において厳正に監査した結果、証拠書類等、正しく執行されていることを認めます。

平成 27年5月24日

監事 針谷光二  
監事 宮崎勇吉  
監事 桑本卓夫



(4) 大学祭への支援  
(5) 就職支援活動

11 動物科学科(畜友会)への支援  
第2号議案 平成26年度収支決算  
寺田経理担当理事より報告があった。平成26年度一般会計収支計算書 別表参照  
平成26年度特別会計収支計算書 別表参照  
正味財産増減計算書  
貸借対照表総括表  
財産目録 別表参照  
財務諸表に対する注記  
会費納入状況 平成27年3月31日現在  
平成26年度連携病院収支計算書 別表参照  
監査報告(報告書参照)  
去る5月24日、針谷、宮崎、桑本監事の3名が監査いたしました。平成26年度同窓会業務並びに会計の収支決算を母校におきまして厳正に監査した結果、証拠書類等正しく施行されていることを認めます。

1号議案、2号議案についての質疑はなく、拍手で承認可決された。

第3号議案 平成27年度事業計画

荻野総務理事より説明があった。平成27年度の事業計画は、130周年記念事業の募金活動が継続されたことを受け、同窓会も募金活動に協力します。

合同教育棟への母校事務部門の移転に伴い、本館に貸与可能な空き室ができ、同窓会館の設置が可能と思われるので、法人と母校へ積極的に働きかけていきます。

同窓会会報は、前年に引き続き年2回発行を予定しています。会報47号は大学の広報委員会の協力を得て、母校の最新情報が満載されている大学広報誌と共に同窓生へ送付予定です。

例年行っている大学への支援と学生会員への事業は継続とします。

実施事業予定

1 平成27年度代議員会

平成27年7月25日(土) 午後1時00分より、母校E棟1階 大講義室にて開催

2 母校創立130周年記念事業の寄付活動の継続推進

3 同窓会館設立の準備

役員会及び委員会等の開催

4 支部強化活動

(1)支部会への役員派遣

(2)その他

6 同窓会報47号、48号の発行

連携動物病院申請受付の継続

8 大学への支援

(1)梅野信吉賞への協賛

(2)獣医生命科学会への協賛

9 学生会員(準会員)への関連事業

(1)入学祝い

(2)卒業祝い

(3)同窓会褒賞者の表彰・記念品の贈呈

(4)大学祭への援助

(5)奨学生候補者の選考

(6)就職活動支援

10 第121回日本畜産学会への協賛

11 動物科学科への支援

12 獣医保健看護学科への支援

13 その他

第4号議案 平成27年度収支予算

寺田経理担当理事より説明があった。

平成27年度一般会計収支計算書 別表参照

平成27年度特別会計収支計算書 別表参照

第3号議案、4号議案についての質疑はなく、拍手で承認可決された。

第5号議案 同窓会館積立金取り崩しについて

会長挨拶で説明のあった、同窓会館の改装に関わる資金のための同窓会館積立金の取り崩しについての質疑。

質問 宮城県代議員佐々木良悦氏

内訳の金額を大まかに教えていただきたい。

回答 中條会長 同窓会館積立金の全部は寄付せず常識の範疇で有効に利用したい。一部は130周年記念事業へ寄付する予定です。

残金は「同窓会運営資金」として積み立てておき、何かある場合に備えて同窓会の事業に使用したい。

第5号議案は拍手で承認可決された。

全ての審議が終了したことを議長が報告し、吉田常務理事の閉会宣言により閉会した。



懇親会にて会長挨拶



代議員会・母校E棟大講義室

代議員会終了後母校「ムラサキ」に於いて懇親会が開催され、学長はじめ多くの理事、代議員が参加して和やかな中話が弾んでいたが、終了時間となり解散となった。

支部会・連合会への派遣

|      |        |                |
|------|--------|----------------|
| 山梨県  | 新井教授   | 平成26年7月4日(金)   |
| 千代田県 | 本学学長   | 平成26年7月6日(日)   |
| 宮城県  | 中條会長   | 平成26年7月6日(日)   |
| 大阪府  | 中條会長   | 平成26年7月26日(土)  |
| 九州   | 中條会長   | 平成26年8月30日(土)  |
| 兵庫   | 中條会長   | 平成26年9月6日(土)   |
| 新潟   | 松本講師   | 平成26年9月13日(土)  |
| 茨城   | 中條会長   | 平成26年9月20日(土)  |
| 大分   | 中條会長   | 平成26年9月28日(日)  |
| 群馬   | 中條会長   | 平成26年10月19日(日) |
| 山形   | 形野名誉教授 | 平成26年10月24日(金) |
| 栃木   | 中條会長   | 平成26年11月3日(月)  |
| 熊本   | 中條会長   | 平成26年11月8日(土)  |
| 島根   | 盆子原教授  | 平成26年11月29日(土) |
| 長野   | 片岡准教授  | 平成26年11月29日(土) |
| 鳥取   | 池本学長   | 平成26年12月6日(土)  |
| 福島   | 中條会長   | 平成27年2月11日(水)  |
| 石川   | 片岡准教授  | 平成27年2月21日(土)  |
| 三重   | 中條会長   | 平成27年3月1日(日)   |
| 京都   | 中條会長   | 平成27年3月14日(土)  |

→懇親会会場



第 2 号議案 平成26年度収支決算  
平成26年度一般会計収支計算書

平成26年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日まで

収入の部

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1 同窓会費収入, 2 入会金収入, 3 諸収入, 受取利息, 寄付金, 名簿発行積立金取崩, 退職給与取崩, 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越金, 収入合計(B).

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1 事業費, 名簿発行費, 会報発行費, 事業推進費, 支部助成費, 学生会員援助費, 学術振興費, 就職対策費, 渉外費, 慶弔費, 東日本災害支援金, 記念建立整備費, 2 会議費, 代議員会議費, 役員会議費, 3 事務費, 事務手当, 旅費, 印刷費, 通信費, 振替・振込手数料費, 器具備品費, ホームページ管理運営費, 消耗品費, 雑費, 4 特別会計繰入金, 名簿発行引当金, 同窓会館積立引当金, 奨学基金引当金, 退職給与引当金, 減価償却引当金, 6 予備費, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

平成26年度特別会計収支計算書

平成26年 4 月 1 日から平成27年 3 月31日

(収入の部)

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1. 繰入金収入, 2. 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(積立金別の収入明細)

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行, 同窓会館, 奨学基金, 退職給与, 減価償却. Rows include 1. 繰入金収入, 2. 雑収入, 当期収入合計(A), 前期繰越額, 収入合計(B).

(支出の部)

(単位：円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 差異, 摘要. Rows include 1. 繰入金取崩, 2. その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

(積立金別の支出明細)

(単位：円)

Table with 6 columns: 科目, 名簿発行, 同窓会館, 奨学基金, 退職給与, 減価償却. Rows include 1. 繰入金取崩, 2. その他支出, 当期支出合計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C).

財産目録

平成27年 3 月31日

(単位：円)

Table with 3 columns: 科目, 金額. Rows include I. 資産の部 (流動資産, 固定資産), II. 負債の部 (流動負債, 固定負債), 負債合計, 正味財産.

第 4 号議案 平成27年度収支予算

平成27年度一般会計収支計算書

平成27年 4 月 1 日から平成28年 3 月 31 日まで

収入の部

| 科 目       | 本年度予算額     | 前年度予算額     | 増 減         | 摘 要               |
|-----------|------------|------------|-------------|-------------------|
| 1 同窓会費収入  | 7,050,000  | 7,050,000  | 0           | 本年度2,100口、過年度250口 |
| 2 入会金収入   | 19,500,000 | 19,500,000 | 0           | 50,000円×390名      |
| 3 諸 収 入   | 67,630     | 6,683,554  | △ 6,615,924 |                   |
| 受 取 利 息   | 17,630     | 17,600     | 30          |                   |
| 寄 付 金     | 40,000     | 50,000     | △ 10,000    |                   |
| 名簿発行積立金取崩 | 0          | 6,012,253  | △ 6,012,253 |                   |
| 退職給与取崩    | 0          | 593,701    | △ 593,701   |                   |
| 雑 収 入     | 10,000     | 10,000     | 0           |                   |
| 当期収入合計(A) | 26,617,630 | 33,233,554 | △ 6,615,924 |                   |
| 前期繰越金     | 6,271,149  | 5,521,253  | 749,896     |                   |
| 収入合計(B)   | 32,888,779 | 38,754,807 | △ 5,866,028 |                   |

支出の部

| 科 目             | 本年度予算額      | 前年度予算額      | 増 減         | 摘 要                                 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|-------------------------------------|
| 1 事 業 費         | 11,650,000  | 20,850,000  | △ 9,200,000 |                                     |
| 名簿発行費           | 0           | 9,000,000   | △ 9,000,000 | 名簿印刷、発送等                            |
| 会報発行費           | 3,300,000   | 3,000,000   | 300,000     | 会報印刷、同窓会ニュース、発送等                    |
| 事業推進費           | 1,200,000   | 800,000     | 400,000     | 各学科への援助                             |
| 支部助成費           | 700,000     | 700,000     | 0           | 45支部                                |
| 学生会員援助費         | 3,800,000   | 3,800,000   | 0           | 入学祝品150万円、卒業祝品150万円、大学祭70万円、会長費10万円 |
| 学術振興費           | 900,000     | 800,000     | 100,000     | 獣医生命科学会、梅野費30万円等                    |
| 就職対策費           | 200,000     | 200,000     | 0           | 学生会員就職対策                            |
| 渉外費             | 300,000     | 300,000     | 0           | 法人母校等との折衝費                          |
| 慶弔費             | 250,000     | 250,000     | 0           | 本学教職員祝品、弔事、護国寺等                     |
| 東日本災害支援金        | 0           | 1,000,000   | △ 1,000,000 | 岩手、宮城、福島等                           |
| 130周年関連事業費      | 1,000,000   | 1,000,000   | 0           |                                     |
| 2 会 議 費         | 4,000,000   | 4,000,000   | 0           |                                     |
| 代議員会議費          | 3,300,000   | 3,300,000   | 0           | 代議員旅費等                              |
| 役員会議費           | 700,000     | 700,000     | 0           | 役員旅費等                               |
| 3 事 務 費         | 6,900,000   | 6,300,000   | 600,000     |                                     |
| 事務手当            | 3,000,000   | 3,000,000   | 0           | 事務手当、アルバイト料、通勤費等                    |
| 旅 費             | 1,400,000   | 1,400,000   | 0           | 支部派遣                                |
| 印刷費             | 200,000     | 200,000     | 0           | 封筒、コピー代、振替用紙等                       |
| 通信費             | 300,000     | 300,000     | 0           | 郵便料、電話代等                            |
| 振替・振込手数料費       | 100,000     | 100,000     | 0           | 郵便振替、銀行振込等                          |
| 器具備品費           | 200,000     | 100,000     | 100,000     | 事務機器等                               |
| ホームページ管理運営費     | 1,500,000   | 1,000,000   | 500,000     | ホームページ管理料等                          |
| 消耗品費            | 100,000     | 100,000     | 0           | 事務用品類等                              |
| 雑 費             | 100,000     | 100,000     | 0           | 残高証明等                               |
| 4 特別会計繰入金       | 9,790,779   | 7,359,114   | 2,431,665   |                                     |
| 名簿発行引当金         | 2,500,000   | 10,000      | 2,490,000   |                                     |
| 同窓会館積立引当金       | 7,000,000   | 7,000,000   | 0           |                                     |
| 奨学基金引当金         | 10,000      | 10,000      | 0           |                                     |
| 減価償却引当金         | 280,779     | 339,114     | △ 58,335    |                                     |
| 5 予 備 費         | 548,000     | 245,693     | 302,307     |                                     |
| 当期支出合計(C)       | 32,888,779  | 38,754,807  | △ 5,866,028 |                                     |
| 当期収支差額(A)-(C)   | △ 6,271,149 | △ 5,521,253 | △ 749,896   |                                     |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 0           | 0           | 0           |                                     |

平成26年度連携病院収支計算書

平成26年 4 月 1 日～平成27年 3 月 31 日

(収入の部)

| 科 目    | 予 算 額 | 決 算 額  | 差 異      | 摘 要         |
|--------|-------|--------|----------|-------------|
| 本年度納入金 | 0     | 99,000 | △ 99,000 | 3,000円 x33名 |
| 利 息    | 0     | 0      | 0        |             |
| 雑 収 入  | 0     | 0      | 0        |             |
| 合 計    | 0     | 99,000 | △ 99,000 |             |

(支出の部)

| 科 目    | 予 算 額 | 決 算 額  | 差 異      | 摘 要 |
|--------|-------|--------|----------|-----|
| 事務費    | 0     | 0      | 0        |     |
| 事務手当   | 0     | 0      | 0        |     |
| 通信費    | 0     | 0      | 0        |     |
| 雑費     | 0     | 0      | 0        |     |
| 事業費    | 0     | 0      | 0        |     |
| 広報費    | 0     | 0      | 0        |     |
| 予備費    | 0     | 0      | 0        |     |
| 合 計    | 0     | 0      | 0        |     |
| 差引繰越予定 | 0     | 99,000 | △ 99,000 |     |

平成27年度連携病院収支計算書

平成27年 4 月 1 日～平成28年 3 月 31 日

(収入の部)

| 科 目    | 本年度予算額  | 前年度予算額 | 増 減    | 摘 要         |
|--------|---------|--------|--------|-------------|
| 前年度繰越金 | 99,000  | 99,000 | 0      |             |
| 本年度納入金 | 30,000  | 0      | 30,000 | 3,000円 x10名 |
| 利 息    | 10      | 0      | 10     |             |
| 雑 収 入  | 0       | 0      | 0      |             |
| 合 計    | 129,010 | 99,000 | 30,010 |             |

(支出の部)

| 科 目  | 予 算 額 | 決 算 額 | 増 減 | 摘 要 |
|------|-------|-------|-----|-----|
| 事務費  | 0     | 0     | 0   |     |
| 事務手当 | 0     | 0     | 0   |     |
| 通信費  | 0     | 0     | 0   |     |
| 雑費   | 0     | 0     | 0   |     |
| 事業費  | 0     | 0     | 0   |     |
| 広報費  | 0     | 0     | 0   |     |
| 予備費  | 0     | 0     | 0   |     |
| 合 計  | 0     | 0     | 0   |     |

平成27年度特別会計収支計算書

平成27年 4 月 1 日から平成28年 3 月 31 日まで

(収入の部)

| 科 目       | 本年度予算額      | 前年度予算額      | 増 減       | 摘 要 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-----|
| 1. 繰入金収入  | 9,790,779   | 7,359,114   | 2,431,665 |     |
| 2. 雑 収 入  | 15,630      | 18,500      | △ 2,870   |     |
| 当期収入合計(A) | 9,806,409   | 7,377,614   | 2,428,795 |     |
| 前期繰越額     | 94,248,128  | 93,494,968  | 753,160   |     |
| 収入合計(B)   | 104,054,537 | 100,872,582 | 3,181,955 |     |

(積立金別の収入明細)

| 科 目       | 名簿発行      | 同窓会館       | 奨学基金      | 減価償却      |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 繰入金収入  | 2,500,000 | 7,000,000  | 10,000    | 280,779   |
| 2. 雑 収 入  | 30        | 14,500     | 1,100     | 0         |
| 当期収入合計(A) | 2,500,030 | 7,014,500  | 11,100    | 280,779   |
| 前期繰越額     | 10,000    | 82,091,313 | 7,108,956 | 5,037,859 |
| 収入合計(B)   | 2,510,030 | 89,105,813 | 7,120,056 | 5,318,638 |

(支出の部)

| 科 目             | 本年度予算額      | 前年度予算額     | 増 減         | 摘 要 |
|-----------------|-------------|------------|-------------|-----|
| 1. 繰入金取崩        | 0           | 6,605,954  | △ 6,605,954 |     |
| 2. その他支出        | 15,630      | 16,811     | △ 1,181     |     |
| 当期支出合計(C)       | 15,630      | 6,622,765  | △ 6,607,135 |     |
| 当期収支差額(A)-(C)   | 9,790,779   | 754,849    | 9,035,930   |     |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 104,038,907 | 94,249,817 | 9,789,090   |     |

(積立金別の支出明細)

| 科 目             | 名簿発行      | 同窓会館       | 奨学基金      | 減価償却      |
|-----------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 繰入金取崩        | 0         | 0          | 0         | 0         |
| 2. その他支出        | 30        | 14,500     | 1,100     | 0         |
| 当期支出合計(C)       | 30        | 14,500     | 1,100     | 0         |
| 当期収支差額(A)-(C)   | 2,500,000 | 7,000,000  | 10,000    | 280,779   |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 2,510,000 | 89,091,313 | 7,118,956 | 5,318,638 |

## 獣医保健看護学科 開設10周年記念行事 開催される

獣医保健看護学科長 左向 敏紀

平成27年11月28日(土)、吉祥寺東急REIホテルにて、獣医保健看護学科の開設10周年記念行事が開催されました。

来賓には、山下精彦日本医科大学常務理事、谷山弘行私獣協会長、山崎薫ヤマザキ学園大学理事、北村直人日本獣医師会顧問、古川敏紀動物保健看護系大学協会会長などの多くの方々に臨席していただきました。そのほか卒業生、在校生などを含め140名の参加者がありました。

記念シンポジウムでは、池本卯典学長が「獣医保健看護学科設置の思い」として動物看護別科から学科設置への背景について講演されました。



シンポジウム・池本学長



祝賀会で挨拶する中條会長

その後「獣医保健看護学科開設と歩みの10年、基礎部門開設の経緯」として福所秋雄初代学科長の講演が行われたほか、向山明孝先生、村松梅太郎先生、湯本典夫先生の設立初期の先生方々の講演が行われました。現職として梶ヶ谷博教授、近江俊徳教授および左向敏紀教授の講演もおこなわれた。

午後一時から祝賀会が行われ、中條真二郎同窓会長など来賓のご挨拶後、祝宴となりました。同窓会からは会長の他、寺田厚、荻野勇、水谷渉、吉田孝治、清水一政の各常務理事に参加していただきました。

卒業生達はステージを占領して写真を撮り合うなど、和やかな雰囲気の中に閉会しました。

## 獣医保健看護学科 開設10年と今後の展望

日本獣医生命科学大学 客員教授 福所 秋雄

池本学長はじめ、多くの教職員のご努力のもと、動物保健学別科を基盤に4年制の獣医保健看護学科が開設され、早10年が経過しました。現在では、獣医保健看護学教育におけるゆりぎない教育・研究体制が整備されております。

現在まで、動物看護専門職の資格(民間の任意資格)が認定されてきましたが、日本獣医師会の主導のもと、平成23年に動物看護師統一認定協会の設立に至り、統一資格認定試験・資格認定が行われています。

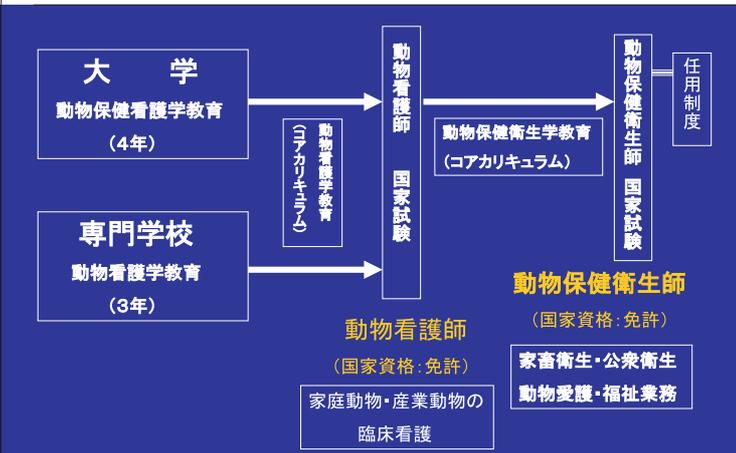
近年、動物医療に携わる動物看護専門職は勿論のこと、家畜衛生、公衆衛生並びに実験動物の管理等に携わる獣医師以外の高度技術専門職を養成する必要性も高まっております。

これら獣医療と家畜衛生・公衆衛生領域の多様化並びに高度化に対応するため、獣医療支援業務を行う動物看護師及び家畜衛生、公衆衛生、並びに動物の愛護・福祉・管理等の業務を支援し、家畜防疫並びに食の安全を担う動物保健衛生師の国家資格認定制度を導入する必要があると思われまます。

そこで、動物臨床看護領域では、専門学校及び大学において動物看護学教育コアカリキュラムを修得した者が受験資格を得る「動物看護師(仮称)」、大学でさらに高度な動物保健衛生学教育カリキュラムを修得した者が受験資格を得る「動物保健衛生師(仮称)」の

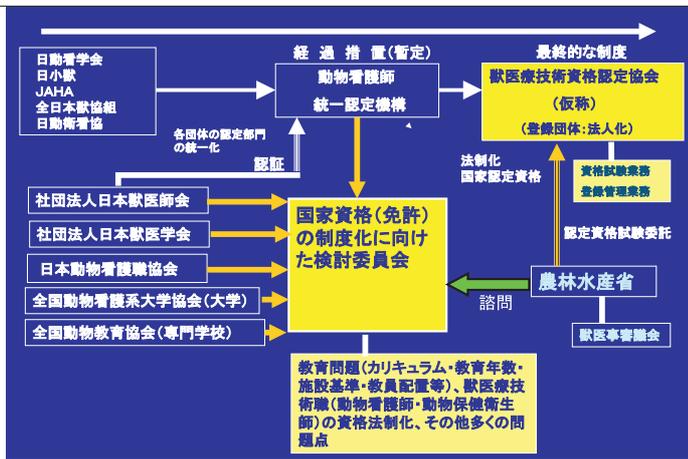
2つの国家資格制度を導入することが望まれます。すなわち、「動物保健衛生師」の資格を得るには、動物看護師の資格を有することが前提となります。動物保健衛生師の職域としては、家畜衛生(家畜防疫)領域、食の安全を主眼とした公衆衛生領域、狂犬病予防法等関連業務を含む動物福祉行政領域、並びに実験動物、野生動物等の領域となります。

これにより、大学において獣医保健看護学教育を受けた学生の職域が動物臨床看護領域のみならず、家畜防疫や食の安全を見据えた家畜衛生・公衆衛生並びに実験動物、野生動物の領域に拡大し、家畜衛生、公衆衛生、実験動物等の分野において獣医師と動物保健衛生師の業務の仕分けが成され、社会に貢献すると思われまます。(左図)



動物看護師及び動物保健衛生師の国家資格

このような制度が確立されることにより、獣医療領域における高度なチーム医療、並びに家畜衛生・公衆衛生領域における高度な家畜防疫・食の安全性確保に貢献できると思われる。



獣医療技術専門職（動物看護職等）資格認定制度の将来構想

今後、前述の制度の確立に向けて、関係機関が統一見解をとりまとめ、関係省庁等に、提言する必要があります。最終的には、法律の公布後、施行前に主管官庁（農林水産省）が、指定した機関（法人）に認定試験・登録管理業務を委託するという制度になると思われます。（左図）

## 事務局だより

### 同窓会本部への連絡

土・日・祝日を除く午前10時から午後4時まで常勤しています。留守番電話、ファクシミリ、郵便、Eメール等にも受け付けます。連絡先は本会報一面に記載しています。

### 住所変更届けのお願い

本会報が届かない会員は、住所の変更（市区町村番地変更を含む）あるいは住所登録がされていません。届かない会員がいましたら本部事務局へ住所登録をするよう伝えて下さい。登録用紙は名簿差し込み用紙か、ホームページから印刷して下さい。

### 次に該当される会員は本部へ連絡をお願いします

他大学で学位を授与された会員。国会議員、市町村長、市議会等へ選出・再選された会員。叙勲を授与された会員、ご逝去された会員など。連絡は情報提供者を特定できる、電話以外の方法にてお願いします。

### 会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費によって運営されています。本会報に払込取扱票が同封されている方は、年会費（三千円）の納入をお願いします。なお、払込取扱票が同封されていない場合は、所属支部の指示に従って納入をお願いします。払込取扱票には、お忘れなく郵便番号、住所、氏名を記載し、通信欄には卒業学科と卒業期（封筒の住所ラベルの区

分）を記載してください。住所等変更のある方は払込取扱票の通信欄記載の変更有りに丸印してください、登録変更を致します。

### 本部分年会費一括納入支部へのお願い

本部会費を一括納入される支部は、会費納入者名簿を事務局へ郵送、ファクシミリあるいはEメールで提出して下さい。

### 母校付属動物病院との連携動物病院の申請

連携動物病院登録申請手続きの窓口は同窓会事務局となっています。詳細については同窓会ホームページの案内、あるいは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

### 長崎県支部会報告

有川 弘

平成27年10月31日（土）、諫早市のホテルセンリユウにおいて、中條同窓会長、仲村九州地区代表にご出席いただき、長崎県支部総会を開催しました。会長から母校の歴史と現状をスライドで見せていただき、一同昔話に花が咲き、懇親会から二次会まで大いに盛り上がり終了しました。（写真下右）

### 長野県支部総会報告

伊藤 隆

平成27年11月21日（土）、ホテルニューステイションにおいて、母校から封馬先生にご出席いただき、支部総会が開催されました。閉会后に記念撮影と懇親会が開催されました。（写真下左）



長崎県支部総会



長野県支部総会

# 大学9期生同期会 箱根湯本で開催

白石 武昌

昭和36年卒業以来54年が経った。同期会は、学年担任であった勝木辰男先生御存命中は折々開催していた。しかし、全員が40〜60歳の頃には、各々の分野で多忙な日々を送っていたことなどから、暫し中断していた。その間、恩師はじめ多くの仲間が鬼籍に入った。



大学9期生会

者86名であったが、昨年度に4名が逝き、82名となった。

同期会も定年退職者が増えた時期から復活し、最近では長野（平成22年10月）、東京（平成23年11月、大学130周年に併せ）、北海道（平成24年9月）、三重（平成25年10月）、秋田・角館（平成26年5月）。そして、平成27年10月、素晴らしい秋晴れの下、北は北海道、青森、秋田、宮城、西は滋賀、静岡そして関東地域から31（同伴者3）名が元気に箱根湯元に集まった。

会は物故者への追悼の黙礼の後、現状報告などが有り、懇親会に入った。旅館の板長が腕をふるった料理と、支配人が手配してくれた日本酒の超高級銘酒を供に楽しみ、語り、数十年来の旧交を温め、再炎させた。その後の二次会でも、最低年齢が喜寿、平均約80歳の老人の集まりとは思え無いほどに盛り上がった。

翌日も天候に恵まれ錦秋には少し早いですが、箱根の山々、芦ノ湖の遊覧船、新装なった関所跡や資料館の見学など楽しみ、夕方、小田原にて無事、来年・青森での再会を約束して解散した。



珍獣黒熊・スラウエシ島

# 平成28年度 日本獣医生命科学大学 入学試験の抜粋案内

教務・学生課

平成28年度日本獣医生命科学大学入学試験の今後の日程の案内です。出願期日の間近な試験日もあります。詳細については教務・学

生課入試係（電話：0422-31-4151（代））まで問い合わせてください。

| 入試種別    | 学部      | 学科       | 試験日   | 試験会場  | 選抜方法等  | 出願期間                |
|---------|---------|----------|---|---|--|---------------------|
| 一般（第1回） | 獣医学部    | 獣医学科     | 2月5日（金）<br>※1月16日（土）・1月17日（日）のセンター試験を必ず受験してください | 本学<br>大阪<br>福岡  | センター試験英語（筆記）必須<br>センター試験数学（数Ⅰ・A、数Ⅱ・B）必須<br>生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）<br>物理（物理基礎・物理）から1科目選択        | 1月4日（月）<br>1月15日（金） |
|         |         | 獣医保健看護学科 |   | 本学<br>大阪<br>仙台<br>福岡  | 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から1科目選択                 | 1月4日（月）<br>1月22日（金） |
|         | 応用生命科学部 | 動物科学科    |   | 英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から1科目選択 | 2月6日（土）  |                     |
|         |         | 食品科学科    |   | 英語（コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から2科目選択  |  |                     |
| 一般（第2回） | 獣医学部    | 獣医学科     | 3月15日（火）  | 本学  | 英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）必須<br>生物（生物基礎・生物）化学（化学基礎・化学）<br>物理（物理基礎・物理）から1科目選択 | 2月12日（金）<br>3月4日（金） |
|         |         | 獣医保健看護学科 |   | 英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から1科目選択 |  |                     |
|         | 応用生命科学部 | 動物科学科    |   | 英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）必須<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から1科目選択 |  |                     |
|         |         | 食品科学科    |   | 英語（コミュニケーション英Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・英語表現Ⅰ）<br>数学（数学Ⅰ・Ⅱ・A・B）生物（生物基礎・生物）<br>化学（化学基礎・化学）から2科目選択   |  |                     |

## 第二回獣医生命科学会が 開催される

学会事務局 川角 浩

平成27年11月7日(土)、日本獣医生命科学大学を会場に、第2回獣医生命科学会(大会長池本卯典学長)が開催されました。本学教職員36名、学生54名、来賓13名、一般8名の計111名が参加された。

午前中、第1会場では、「再生動物医療へのチャレンジ」というテーマで田村勝利氏(倉敷芸術科学大学)、久末正晴氏(麻布大学)、荻野智絵女士(農林水産省動物医薬品検査所)の講演が、第2会場では、「女性獣医師が活躍できる社会」のテーマで前田育子女史(茨城県畜産センター)、西木千絵女士(にしき動物病院)によるシンポジウムが開催された。

午後、第1会場では池本会長司会による「獣医学教育国際化に向けての諸課題」と題したシンポジウムが開催され、酒井建夫氏(日本獣医師会副会長)、政岡俊夫氏(私立獣医科大学協会顧問)、小林元郎氏(東京都獣医師会副会長)、新井敏郎氏(日本獣医生命科学大学)、入交眞己氏(日本獣医生命科学大学)がパネリストとして発表された。第2会場では、有村裕氏(日本獣医生命科学大学)座長による辻典子女史(産総研)、と田中あかね女士(東京農工大)による「局所免疫の最近の話題」でシンポジウムが開催され



シンポジウム「獣医学教育国際化に向けての諸課題」での質疑応答

た。一般演題として13のポスター発表があり、本学学生の中澤翔太氏(保健看護学基礎部門)と河野里映女士(獣医臨床繁殖学教室)の2名が優秀発表賞を受賞された。午後5時から生協むらさきにて懇親会が開催され約50名が参加された。

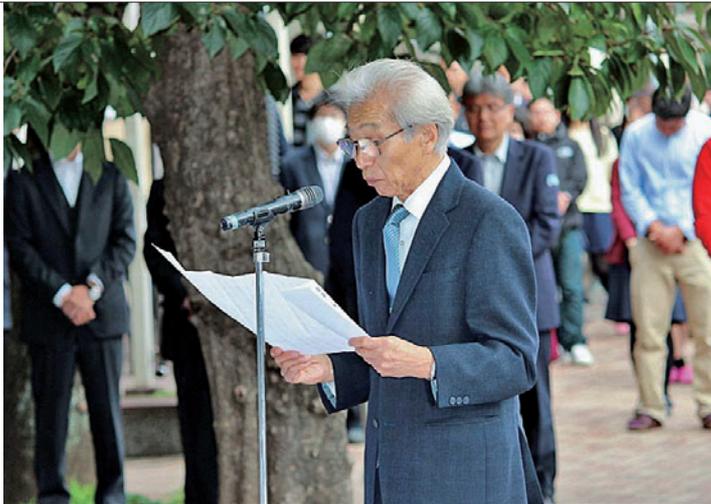
発表の詳細は、各支部長宛にお送りした学会誌「獣医生命科学 (Journal of Veterinary Medicine and Life Science)」1巻2号に掲載されています、参照願います。本学会は学術交流会から移行後二年が経過しました。来年度は、学会組織としての活動をより充実させるため、正会員1000名の登録を目標として、6月に第3回大会の開催を予定しています。

## 平成27年度動物慰霊祭挙行について

事務部 庶務課

すっかり秋の色が濃くなった10月29日、第一校舎中庭の「仁畜の碑」前にて、動物慰霊祭がしめやかに執り行われた。

←追悼の辞を述べる池本学長



参加した教職員・学生一同による黙祷の後、池本卯典学長より、「本学の関係者一同は、生命倫理、動物の福祉など深く心に刻みながら、生命科学の意義や知を極め、動物との共生に努めることを誓い、犠牲となった多くの動物達の冥福を心よりお祈りする」との追悼の言葉が述べられた。

その後、学生を代表して佐藤駿樹学友会会長より、「私達は動物と接するに当たり、常に学生として学ぶ目的を明確に持ち、真摯な態度と感謝の気持ちを忘れず、善良な獣医師・動物看護師・生命科学者として育つことで動物の慰霊と報恩にかえさせて頂きます」との哀悼の意が述べられた。

最後に、池本学長、高橋獣医生命科学研究所長、河上獣医学部長、阿久澤応用生命科学部長、藤田動物医療センター院長、吉村牧場長、鈴木生命科学共同研究施設長、横須賀動物実験委員会委員長、佐藤学友会会長の指名献花の後、教職員・学生により献花が行われ、教育・研究のため犠牲となった多くの尊い動物達の冥福を祈った。

←献花する学生



### 平成27年度体育祭

学生支援センター

平成27年10月21日(水)に武蔵野陸上競技場において、平成27年度体育祭が開催された。体育会クラブやサークル、研究室を中心とした約500名の学生がチームに分かれて競い合った。恒例の綱引きや騎馬戦、障害物競争、玉入れ等に、体育祭実行委員がアレンジを加えた競技が行われ、ファイナールのリーグ決勝では大歓声があがり、親交をさらに深めた一日となった。

←綱引き



→騎馬戦

### 平成27年度日獣祭

学生支援センター

平成27年10月31日(土)、11月1日(日)に本学において、第66回日獣祭が開催された。

本年度のテーマは「日々獣笑〜みんなで楽しくウツシッシ〜」で、勉強や実習、研究活動、クラブ活動等、充実した日々を送っている学生たちが、日頃情熱を注いでいるものを日獣祭で発揮し、お越しいただいた方々に楽しんでほしいという意味である。

1日目は3,093人、2日目には3,884人、合計で6,977人と昨年を1,342人も上回る来場者となった。

音楽系団体の演奏や合唱、体育系団体の演武やパフォーマンス、研究室やクラブ・サークルの展示、動物とふれあえるミニミニ牧場や恒例のペットショー等大いに盛り上がり、「動物と食」という本学にふさわしい2日間を終了した。



ウインドアンサンブル演奏会



→ペットショー

### 第121回日本畜産学会を母校で開催

下記の要領で開催されます。同窓会員の参加をお待ちしています。

日時：平成28年3月27日(日)～30日(水)

大会長：阿久澤良造

場所：日本獣医生命科学大学；A棟、B棟、E棟

大会日程

3月27日(日) 公開講演(参加無料)、関連学会・研究会

3月28日(月) 優秀発表賞応募講演、一般講演、分野別シンポジウム、研究交流会

3月29日(火) 一般講演、分野別シンポジウム

3月30日(水) 関連学会・研究会等



合唱団赤とんぼ

# 新年の御挨拶

日本獣医生命科学大学 学長

池本 卯典



新年おめでとございます。昨年中は大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。本年も何卒よろしく御指導下さい。

同窓会の皆様と共に祝った創立130周年記念事業は5年前、まさに《光陰に閑所なし》、創立140周年記念の準備が待っている昨今となりました。

母校の近況は、一昨年完成した合同教育棟（E棟）の2・3階に医学部基礎科学課程を、4階には獣医保健看護学科、5階に動物科学科、6階に食品科学科が、それぞれ研究室と教員オフィスを構え、7階を共用実験室及びイングリッシュラウンジとして有機的に活用しています。夕方になると7階の窓はまさにビルの星座、研究室に点った灯りは大学の現代を象徴しているようです。

明けて朝の屋上、東方に太陽は輝き、西方は冠雪の富士、裾を隠すは箱根連山の山波か。眼下を展望すれば、武蔵境、吉祥寺、三鷹、田無、小金井、府中、調布。国木田独歩がこよなく愛した《武蔵野まほろば》に緑の田畑と雑木林は疎（うつ）ろ、林立するビル

の峰が続く大都市が広がっています。遠くに見える21世紀のシンボル、634米のスカイツリーは幻でしょうか。

日本獣医畜産大学の名称を日本獣医生命科学大学と変更したのは平成18年。その3年前平成15年、獣医畜産学部を獣医学部と応用生命科学部2学部制に、平成17年獣医保健看護学科を新設。続けて教職員に犠牲を強い、学科の定員増、それでも2学部4学科の収容定員は約1、600名、文部科学省の分類する収容定員2、000名以下の小規模大学です。大学院は各学科に博士課程前期（修士）と博士課程後期（博士）を置き、収容定員は修士課程24名、博士課程44名。定員割ることともなく院生は研究に勤しみ成果も挙がっています。なお、論文博士の対象となる研究生37名、特別研究生37名。海外学術協定12大学からの留学生は短期・長期を含めて29名でした。

政治体制の変革は、先ず法律と教育改革といわれているように、安保法、消費税法、秘密保護法。そして安倍内閣の主導で設置された教育実行会議は、中央教育審議会の司令塔との風評もあるようです。入試改革、文系学部の改廃、大学ランク付等々。教育イノベーションは花盛り。その前哨期ともいえる平成17年に草創した本学の獣医学部獣医保健看護学科が10周年を迎え、去年の11月28日日本医科大学から山下常務理事にご出席頂き、記念の小宴を終えました。開講の目的は、動物倫理と福祉を弁え、動物看護の知識と技術を備えた教養豊かな動物看護専門師の養成、同時に動物看護師の法的・社会的地位の確保に対する貢献。広くはジェンダーステータスの向上であります。一方、学内（法人）事情としては、昭和41年に衛生検査技師の養成を目的と

して法人が本学に設立し、後に臨床検査技師の養成教育に進化した日本医学技術専門学校廃校問題もありました。2、440名の臨床検査技師を輩出し、斯界に大きく貢献してきました。しかし、近年臨床検査技師は飽和状態を招き、本校のみならず他の大学等に開設されていた臨床検査技師要請施設も軒並み縮小乃至廃止が続き、本校も例外ではなく、法人は廃校を決定したのであります。そこで、本学の発展計画や廃校に伴う教育研究施設と人材の活用を考えました。まず、平成15年4月獣医学部に多川教授を学科長として動物看護学科を併設し、動物看護教育の可能性と継続性を検討したところ、結果は極めて有意義でした。さらに平成15・16年の2期に亘る別科生が熱望する4年制学科への進期待望論にも強く背を押されました。当時の大石獣医学部長、清水学科主任、池浦事務部長、深浦教務課長には、日夜の設置準備のお世話をお願いし、平成17年4月、日本最初の獣医保健看護学科は誕生しました。

従来本学は、典型的な男性大学、私の同期には女子学生は皆無でした。それが日本獣医畜産大学時代の昭和後期より、獣医師志望の女子学生が漸増し、日本獣医生命科学大学時代に入ると、動物科学科、食品科学科にも女子学生は増加し、加えて獣医保健看護学科の女子学生は約90%に及び、全学収容定員1、600名のうち、女子学生の割合は約60%となった次第です。入試成績上位、卒業生の優等生にも女子学生が並び、本学の偏差値評価を押し上げています。

実は明治45年、日本獣医学校は日本家畜学校を併設し、その講習科に女子生徒の入学を許可しています。その先達は梅野信吉先生で

した。本学の精神的故郷に潜むルーツには女性尊重のDNAが組み込まれているのかも知れません。因みに、河田町にあった日本獣医学校の校地を引き継がれた東京女子医科大学の前身、校長 吉岡弥生先生の東京女子医科大学創設は明治33年12月と記録されています。

さて、現代社会における《地域創生》は、まさに国是、担当大臣を配して推進に努めています。その地域創生は、農業を見捨てて成長できません。私は《地域創生に農業の知恵を》と密かに主張しているところです。

釈迦の説法ですが、本学のルーツは農学と農業。動物科学科の前身は畜産学、食品科学科の前身は農産食品学を含めた食品工学科。獣医学科はかつて馬、酪農、養豚、養鶏等、群（むれ）を診た獣医学が本流でした。それが近年、人と共生する家庭動物の獣医療、頻発する動物と人間の共通感染症対策等と相俟って、医学型の高度獣医学教育に変革を急いでいます。また獣医看護学とその技能は、現代獣医療に不可欠です。その遅々たる改善に当事者として深い原罪意識に苛（さい）なまれ、速い国家資格化を祈り続けている次第です。

この年頭挨拶をまとめている夕刻、アリーナから管弦の美しき旋律が流れてきました。愛奏会メンバー45名の奏でるクリスマスコンサートです。最後の曲目は《ライオンキング》、その音色に聞き惚れると共に、この小さな大学に開花した文明、文化の未来に期待し祝福した次第です。

末辞になりましたが、改めて旧年中の御支援に感謝すると共に、同窓生の皆様の御健康と御多幸を心からお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。